



個別指導塾フォルテ

×



算数

3年生

第7節

わり算のきほん

【例題1】わり算を使ってみよう!

ゼルビーくんは、ゼル塾鉛筆18本を6人の友だちに同じ数ずつ配ることにしました。1人分は何本になりますか。

■ 解き方 (①・②にあてはまる数を答えてみよう!)
同じ数ずつ分けるときは、「わり算」という計算を使います。記号は「÷」を使います。
この場合、式は① ÷ 6になります。
このわり算の答えは、かけ算の式②×6=①の②にあてはまる数になります。② の数字は、6のだんの九九で見つかります。
よって答えは、② 本になります。

①18 ②3

【例題2】0や1の割り算をやってみよう!

計算をしましょう。

(1) $0 \div 6$ (2) $5 \div 1$

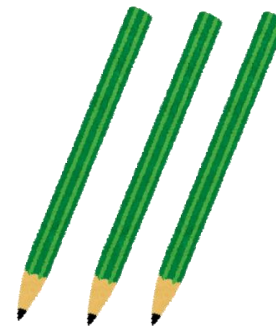
■ 解き方

(1) 答えは $6 \times ① = 0$ の①にあてはまる数になります。
(2) 答えは $1 \times ② = 5$ の②にあてはまる数になります。

①0 ②5



わり算の答えは、九九をうまく使えば求められるよ!



・わられる数が0で、わる数が0以外のとき、答えは0になります。
・わる数が1のとき、答えはわられる数と同じになります。
・わられる数とわる数が同じとき、答えは1になります。

①32このあめを、8人で同じ数ずつわけるとき、1人分は何こになりますか。

→わからない時は【例題1】を確認しよう！

②54dLのジュースを、9dLずつコップに分けます。コップは何こいらいますか。

→【例題1】を参考にして考えてみよう！

③36まいの画用紙を配ります。

(1)1人につき4まいずつ配るとき、何人に画用紙を配ることができますか。

(2)6人に同じ数ずつ配るとき、1人何まいになりますか。

→【例題1】を参考にして考えてみよう！

④計算をしましょう。

(1) $45 \div 5$ (2) $49 \div 7$

→何だんの九九を使えばうまくいかな？

(3) $9 \div 1$ (4) $2 \div 2$

→【例題2】を参考にして考えてみよう！



【コラム】わり算の記号

この節では、わり算の時には「 \div 」という記号を使用すると学習したね。

この記号は、1659年にスイスのラーンという数学者がはじめて使い、今でもアメリカやイギリス、日本などで広く使われているよ。

でも、実はわり算の時に「 \div 」以外の記号を使っている国も多いんだ。

たとえば、ドイツやフランスなどでは、「 $:$ 」がよく使われている。これは、17世紀のドイツの数学者、ライプニッツがよく使ったからだとされているよ。

また、世界共通のわり算の記号としては「 $/$ 」がよく知られているよ。コンピュータでわり算を入力するときなどは、この記号が使われることが多いよ。

このように、わり算の記号としては、「 \div 」「 $:$ 」「 $/$ 」というように、多くの表し方があるよ。

わり算だけでなく、足し算、引き算、かけ算にもおもしろい歴史があるから、自分で調べてみよう!



①計算をしましょう。

(1) $12 \div 2$ (2) $35 \div 7$

(3) $3 \div 1$ (4) $0 \div 3$

(5) $28 \div 4$ (6) $6 \div 6$

②ゼルビーくんは、72ページある本を1日に9ページずつ読み進めます。何日で本を全部読み終えることができますか。

【式】

【答え】

③（おうよう問題）

ゼルビーくんが、2人の友だちとカードゲームをしています。そこに友だちがもう1人やってきて、合計4人でカードゲームをすることにしました。もといた3人は8枚ずつカードを持っていましたが、ゼルビーくんが1度すべてのカードを集めて、4人に同じ数ずつ配りなおしました。その後、1人が持っているカードの数は何まいになるでしょう。

④（おうよう問題）

30÷6の式になる問題を自由に作りましょう。

